



ドマのようす

せた
瀬田 2 丁目にあった長崎家は、
瀬田村で代々百姓代を勤めていま
ひやくしやうだい
した。昭和52年に文化財第一号に
指定され、昭和55年に岡本公園民
家園に移築復原されました。

建築年代は江戸時代中期(18世紀
ごんせき
末期)、また、痕跡などから当初の
規程は桁行 6 間(約10.8m)、梁間
けたゆき
3 間(約5.4m)、間取りは広間型と
されます。

しかし移築復原に際しては、長く
農家として使われていた食い違
よつま
四間取りを再現し、江戸時代後期、
世田谷にみられる典型的な農家の
よみがえ
屋敷構えを甦らせました。



屋内のようす

きゆうながさきけじゆうたくおもや
旧長崎家住宅主屋
世田谷区指定有形文化財